

社友会だより

第 24 号

発行 センツウ社友会
住所 千葉県松戸市六高台 2-102-12
〒270-2203 長谷川英夫 内
編集者 大場省平

新年のご挨拶

社友会会長 法安忠美

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、よいお年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。



昨年も、相変わらず国内外で色々な出来事がありました。わが国でも、国民が期待されたとされる政権交代が

ありました。その新政権の傲慢さぶりの反面の無能ぶりを見せつけられるにつれ、政権交代を煽ったマスコミの世論誘導の恐ろしさを、今ほど感じたことはありません。

さて、わが社友会におきましては、懸案の役員交代がはかられ、新進気鋭の諸君のもと懸案事項の解決に取り組んでおるところであります。とりわけ、これまでの会社創立記念日辺りを同じ釜の飯を食った同窓の集まりの日とする事業も、各地域で即実施することが出来ました。又、社友会ホームページも既に立ち上がっております。

やれば出来るとの素朴な喜びを実感しております。

喫緊の課題であります会員増強も、目下精力的に取り組んでおりますが、本会の目的である会員相互の福祉の充実についても、各地域における色々な同好倶楽部の設置などを急がねばなりません。これ等を含めた諸案件の達成には地道な活動が求められるところではありますが、全て皆様のご協力なしには実現いたしません、ご支援よろしくお願い申し上げます。

今期は、社友会全国区達成の年度とすべく取り組んでおります。皆様のご協力とご参加を切にお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます、新年のご挨拶と致します。



謹賀新年

センツウ創立記念日に合わせ 各地域で同窓の集い開催

平成 20 年 11 月 30 日、センツウ 56 年の歴史に幕を閉じてから早一年が過ぎ、「センツウ（日本船舶）」を末永く語り継いでいきたいとのご要望があり、全国の O B・現役の人達が賛同、各地域で「同窓の集い」が開催された。各地域ごとの開催模様を特集しました。

中央地域

平成 21 年 12 月 5 日、12 時から東京港区浜松町のシーサイドホテル（元首都圏支店隣）で、O B 及び

現役 71 名が集い、盛大に懇談会を開催した。

同懇親会の企画開催に当たっては、ドコモモバイル・ドコモエンジ・ドコモに移籍した現役社員と社友会の合同企画により実現、会の運営は裏方を除きすべて現役社員が執り行なった。



開演 30 分前には、入口に 40～50 人以上の方々が参集され、O B・現役それぞれが思いで話しに花が咲き、皆さんの思いが一つになったようであった。参加人数は、71 名の太宴会となった。

開演時間が近づき、ウエルカムドリンクを片手に参加者一同が入場した。

ドコモエンジの鏡給次郎さんの司会により、開演宣言に引き続き、O B の湯沢重夫さんが乾杯の前に挨拶

され、会社の設立から今日までの思い出を語られ、参加者は、その話に引き込まれていました。乾杯の後、各テーブルには、久しぶりに会って近



況を報告をされる者、また、ドリンクを片手に各テーブルを回り、話に加わる者等で、大変な盛り上がりとなりました。



宴半ばにさしかかった頃、司会者から、各社にて活躍中の方々の紹介があり、その代表として、エンジの久保守利さん、ビジネスネットの菅原志郎さん、モバイ

最初はどれだけの方が賛同いただけるかが心配でしたが、社友会会員にかかわらず呼び掛けをしようとのことから、見込み以上の31名の出席となりました。



旧センツウの人のつながりは、思いのほか強力で、是非参加したいと言われておられましたが、体が不調のため欠席された方が3名、健康一番と特に感じました。

当日の朝一番は雨模様でしたが、開催時刻の前には、天気がよく気温も暖かくなり、絶好の開催条件となりました。時間前に、ほぼ入場され、企画どおりとなったため、胸をなげおろしました。

参加された方々の内訳は、ドコモ・エンジニアリングへ転社された方が5名、「戸田さん、古井さん、山本さん、川村さん、足立さん」、モバイル現役5名、センツウOBは21名（社友会メンバー18名）で、特に若手の足立さんの出席にはよかったですと思いました。

ルの山本健勝さんからの近況報告があり、OBの方々もその活躍ぶりに安堵していた。

中締めにあたり松原繁弘さんから、会の開催にあたり、各社にて取り纏め等尽力されたビジネスネットの園田敏雄さん、モバイルの田村 誠さん、エンジの鏡給次郎さんを紹介、センツウ時代の思い出と近況が報告された。



最後に、来年もまた、このような会を開催することを誓い、万歳三唱にてお開きとなりました。

<レポート 長谷川英夫さん>

東北地区

平成21年12月2日、(水) 18:00から仙台駅近くの居酒屋に於いて、第2回目の懇親会を開催した。

司会進行は、佐藤健二さんが行い、伊藤堅司さんの挨拶で開演、飲むほどに、酔うほどに昔話が出てきて大いに盛り上がりました。

皆さん別れがたく、二次会のカラオケでは、マイクを離さない人ばかりで幹事さん苦労した模様です。

東北では、7月に東北在住のOBによる第1回の懇親会を開催、

今後は定期的に会合(ただの飲み会)を開くこととしました。



<レポート 瀬林義昭さん>

関西地域

関東地域の開催に合わせて、関西地区の開催を企画しましたので報告します。

村上さんの開催挨拶と乾杯の音頭でスタート、移住民のごとく人の輪が移動しながらの懇談となっており、あっという間の2時間が経過しました。

もっとゆっくりしたいとの要望がありましたが予定時間のため、古井さんに中締めをお願いしました。

古井さんからも「これからは毎月でも集まりたいとの声もあり、楽しい時間でした」との発言が出て、大いに盛り上がり「再会」を祈念して解散となりました。

時間も早い事もあり、二次会のグループと麻雀グループとに別れて、夕刻まで楽しんでいたようでした。

<レポート 上中 健さん>



東海地区



当日は、ドコモサービス東海から八尾さん、ドコモエンジニア東海から近藤さん、竹内さん、東海衛星SCから、遠山さん、吉本さん、佐藤さん、山村さん、藤島さん、磯部さんの総勢 16 名が参集、手



平成 21 年 12 月 1 日、名古屋名物「世界の山ちゃん」女子大店で会費 4000 円にて開催した。



羽先と旧センツウの話で盛り上がり、最後は佐藤さん、本田さんから激励のエールをいただき、来年の再会を誓い合いました。

<レポート 遠山栄助さん>

九州地域

平成 21 年 11 月 20 日（金曜日）18:30 から、中四国九州地域社友会主催の第二回センツウ同窓の集いが開催された。



会場の MARRY GOLD は、旧センツウビルを結婚式場に改装された会場で、外観はレ

トロ風に改装しているとはいえ内部はすっかり変わってしまって、1 階の整備課は結婚式場に、倉庫はワイナリーに、天井の



2 階は、重厚な雰囲気のある豪華披露宴会場になっており、オーナーの好意により、少人数ながら、当日は貸切で、料金も割り引き実施することができた。

社友会の年中行事としては、一泊 2 日の悠々のんびり温泉旅行が定着していたが、昨年は事業集約によりセンツウが無くなるため、急遽、センツウお別れ同窓会を開催した。その 2 回目である。二番煎じと、挙行に不安もありましたが、皆様に支えられ、今年も賑やかに開催することができました。

今年は、東京から阿部・松本両氏、広島から原田氏、いずれも忙しいスケジュールを割いて出席頂きました。又、ドコモ各社の現役、定年退職者 O B、結婚退職 O B、早期退職者 O B 等々、センツウに勤務してお互いに汗をかいた、かつての社員、合わせて 33 名が集合した。

センツウ 57 年目の今年に、還暦の方が 7 人もおり、司会者が居なくても十分過ぎるほど宴は盛り上がり、予定した 2 時間があつと言う間に過ぎ去り、30 分の延長で余韻を楽しみ、来年の再会を誓ってお開きとなりました。



<レポート 松崎繁行さん>

船舶電話発祥の地、横浜港に
S Q 機で汗を流した若人が集合



「昔懐かしい夕べの集い」が計画されていることを知り、清水世話役に申込み、参加しました。

計画は日本船舶通信（株）横浜営業所に昭和 28 年ごろから 10 年間、船舶電話発祥の地で、横浜で S Q 方式電話機の運搬等で共に汗を流し苦労していた、昔の若者達の集まりでした。

当初の計画では 10 月 8 日予定が残念ながら台風 18 号の上陸で流れ延期、10 月 15 日開催されました。

小生は 50 年ぶりに再会した友人米屋の青木さんとの出会いで懐かしい想いに満足、その喜びもあ



り、また旧友達はそれぞれ元気で生活をエンジョイされている様子をお知らせしたく、ペンをとりました。

「集いの様子」

近年観光化された横浜港を見学した 10 名は、ふた手に分かれて散策していた仲間達 3 名と中華街で合流、中華料理を食しながら昔懐かしい思い出話、「職場での苦楽・青春時代の自由な生活と癒し」、また最近の健康・生活の様子など近況報告に話が盛り上がり、4 時間を経過し閉会、再会を念願しながら横浜中華街を後にしました。



「今年開港 150 周年記念を迎えた

新横浜港を歩いた場所（2 時間）」

① J R 桜木町駅スタート⇒②日本丸メモリアルパーク⇒③赤レンガパーク⇒④海上保安庁資料館（北朝鮮船舶）⇒⑤像の鼻パーク⑥大棧橋・元日本船舶通信横浜営業所ビル⇒⑦山下公園⇒⑧横浜中華街⇒⑨中華料理店ゴール

参加者：13 名紹介

遠方、熊谷市の今井さんを筆頭に、昭和 31 年入社、米屋の青木さん、電気屋の柳下さん、職場に花を咲かせていた旧姓、矢野さん、月本さん、想田さんの女性 3 名、社友会員で清水・村上・林・鈴木（勝）・芹沢・菅原・立石以上 13 名

<レポート 立石孝男さん>

＊ 役員会の開催 ＊

○日時 平成 21 年 10 月 22 日（木）13：00～16：00

○場所 島嶼会館（東京港区海岸）

○出席者 法安会長以外 8 名

1. 議題

(1) 「センツウ同窓の集い」開催について

①開催趣旨の説明

②開催は関係企業への影響等を配慮し、社友会後援として、各地域毎に開催する。

③全国展開の方法

・全国展開骨子を作成し、10 月発行の社友会会報に掲載し全国の会員にお知らせする。

・菅原・松原両理事から各地域との連絡状況を報告した。

④中央（首都圏）地域での開催

・全員一致で開催を決定

・出欠ハガキの提出期限は、11 月 20 日（金）とする。

・出欠ハガキの返信先は（世話役事務局）は、松本理事の自宅とする。

⑤各地域での開催

・地域役員に対しては、文書（役員会議事録）により 10 月 26 日の週に連絡する。

・会報掲載案

⑥地域での通信費等の取扱い

・案内状発送等の通信費及び雑費は、社友会負担とする。

・開催費用の支援等については別途検討する。

(2) その他

①会員名簿（2009. 10. 10 現在）を席上配布した。

②社友会入会申込書及び会費振込用紙を席上配布し、入会勧誘推進を依頼した。

以上

荒本武義さん米寿の御祝い

広島在住の荒本武義さんが、平成 21 年 12 月 24 日米寿を迎えられ、社友会から御祝をお送りいたしました。ご本人から健康にて日々を過ごしている旨の近況と丁重な御礼状を頂きました。

いつまでも、お元気で過ごして下さいませようお祈り申し上げます。

＊ホームページ開設のお知らせ＊

平成 21 年 12 月 1 日、社友会のホームページが開設されました。

今後は、全国社友会会員へのお知らせ（総会・各種レクレーションの開催）、社友会会報等の掲載及び会員からの意見・要望の受付等を行う予定です。

現在は、役員名簿・会報（創刊号から 22 号まで）「センツウ 56 年のあゆみ」を掲載しております。

是非ご利用下さい。 <担当 菅原和夫>

ホームページの URL は、

[<http://homepage3.nifty.com/sentu/>]

パスワードは、Sentu1002（Sは大文字です。）

今回の発行は、4 月を予定しています。